

鳥羽で最期まで暮らそう

在宅医療を支える

多職種の間を繋ぐ役割を知ろう!!

市在宅医療・介護連携部会 ☎️ 25 1182

「薬局の薬剤師」編



上村 肇 薬剤師

在宅医療での薬局薬剤師の役割って何?

基本的に一人で医療機関を受診できず、薬の服薬や管理が上手くできないかたを対象に、薬剤師が在宅訪問し、薬の説明や、飲み忘れや飲み過ぎの確認、服薬意義の説明、複数の医療機関を受診している場合には薬の飲み合わせの確認、副作用の説明や確認などをさせていただいています。そして、その結果をかかりつけ医やケアマネジャーに報告するなど、他の医療介護関係

薬のことで困っていませんか?

- 薬の管理が出来ない
- 飲みづらい飲んでくれない服薬の介助に時間がかかる
- 飲み忘れてしまう
- 何に効く薬かわからない
- 錠剤をつぶして飲んで大丈夫? 飲み合わせは大丈夫?

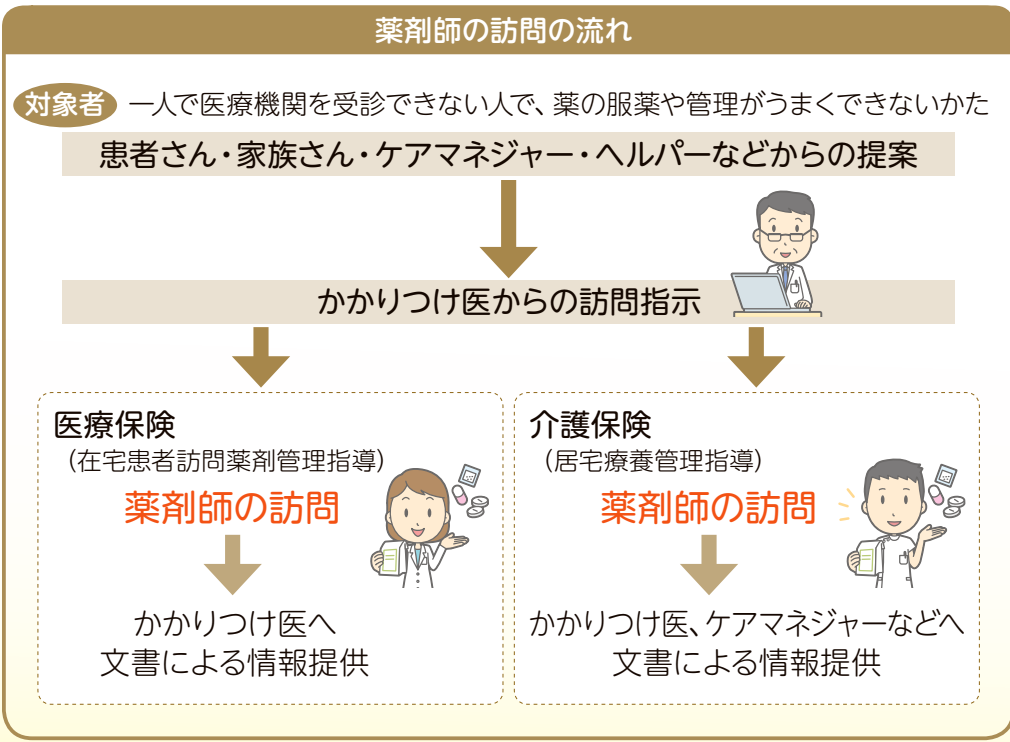
薬に対する不安、疑問 薬剤師がお応えします。

者と連携して情報共有することで、より良い在宅医療につながります。特に、高齢者や、一人暮らしのため飲み忘れが多いかた、認知症のかたなどは、薬剤師が在宅訪問して薬の適正使用の確認をする必要性が高く、

かかりつけ医からの訪問指示で薬剤師が訪問

医療保険または介護保険を利用して薬剤師の訪問サービスが受けられますが、どちら

現在、ヘルパーに服薬の介助などをしてもらっているかたでも、薬剤師が在宅訪問し、薬剤師の視点を増やすことで、より良い在宅医療を提供できます。



でもかかりつけ医の訪問指示が必要で、薬剤師が入ることとでそのかたの在宅医療に役に立ちそうだと判断されれば、薬剤師は在宅訪問できます。

薬剤師の在宅訪問を希望されるかたは、かかりつけ医、ケアマネジャー、ヘルパー、

もちろん薬剤師でも結構ですので、気軽に相談してください。

市の在宅医療のチームの一員として、市民のみなさんのお役に立てるよう薬剤師も頑張ります。